

—— 卒後研修実施内容 ——

1. 東京歯科大学

◎口腔インプラント学講座 申込番号：1-1

1. 期 日 2019年7月14日（日）午前9時30分～午後5時30分 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ このインプラント、どうしたらよいのだろうか？
ー今、考えられるすべてのインプラントトラブルの対処法と
誰も示さなかったインプラント撤去基準ー

内 容 (1) インプラント関連手術によるトラブルの診断と対応（全身的、局所的トラブル）
(2) メンテナンス時に必要な診査とインプラント周囲炎への対応
(3) 補綴学的トラブルへの対応
(4) 「東京歯科大学インプラント撤去基準」の症例と根拠
(5) ランチョンセミナー

3. 研修の特徴 東京歯科大学口腔インプラント科新患の25%は、すでにどこかの歯科医院でインプラント治療が行われており、そのうちの52%は他院で行われたインプラント治療のトラブルケース（生物学的、補綴学的合併症の頻度が高い）です。この割合は年々急激な勢いで増加し続けています。当然、インプラント治療を行っていない診療室にも、インプラントトラブル患者が来院し、治療を求めることが急増していることになります。私たち自身がインプラント治療を行うかどうかにかかわらず、他院で行ったインレー修復の深部に2次カリエスを発見した時と同じように、すべての歯科医師がインプラントのトラブルに対応しなければならないという日常が目の前に迫っています。この場面で如何に適切なりカバー処置を行い得るかが、その診療室の実力を示すことになり、完璧な対応であれば患者からの厚い信頼も得られるでしょう。

今回の研修会での基本パターンは、患者の主訴（インプラントが動揺、周囲粘膜が腫脹、痺れが治らない等）から、実際の臨床現場に即して進めて行きます。診断を付けて行く手順とその対応を、可能な限り Decision making tree を作成して示したいと考えています。また、世界でも、もちろん日本の教科書、指針、論文等でも明確な決定がなされていない「インプラントの撤去基準」を、ここに初めて「東京歯科大学インプラント撤去基準」としてご説明いたします。本企画は、講義、デモ、実習によって、どのようなインプラントトラブル患者が来院しても、冷静で適切な処置が行い得るよう考えられた研修です。この機会にインプラントトラブルシューティングをぜひ修得ください。

4. 実 習 SW 知覚テスト、上顎洞底拳上術、インプラント体・スクリュー除去キット、補綴トラブル再現模型による確認手技、電動式歯面清掃用装置（エアフローマスター）体験、その他

5. 実習材料費 15,000円

6. 担 当 者 矢島 安朝教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音○ 9. 研修コード 2609, 2798

◎クラウンブリッジ補綴学講座 申込番号：1-2

1. 期 日 2019年7月28日（日）午前10時～午後5時

2. 研修テーマ メタルフリー修復と補綴領域のデジタルデンティストリーー現状とこれからー

内 容 (1) オールセラミッククラウンの特徴とその臨床（講義・形成実習）
(2) CAD/CAM 冠修復の勘所（講義・形成実習）
(3) ラミネートベニアクラウンの実際（形成実習・装着実習）
(4) デジタルデンティストリーの現状とこれから（講義）
・オールスキャナーの実際（体験実習）
・デジタルシェードテイキングの実際（体験実習）

3. 研修の特徴 最近の補綴領域、特にクラウンブリッジ補綴領域においては、オールセラミッククラウン、CAD/CAM 冠、ファイバーポストを使用したレジン築造などのメタルフリー修復、そしてオールスキャナーをはじめとしたデジタル機器を使用した補綴治療が注目されている。

メタルフリー修復においては、オールマイティーの歯冠修復として30年以上臨床使用されてきた陶材焼付鑄造冠に代わり、ガラスセラミッククラウンやジルコニアを使用したオールセラミッククラウン・ブリッジを日常臨床でどのように活用するか、またCAD/CAM 冠による歯冠修復の勘所は、ラミネートベニアクラウン臨床の勘所は、などについてお話しする。

クラウンブリッジ領域のデジタルデンティストリーにおいては、診断から治療までの現状を話し、オールスキャナーとデジタルシェードテイキングの体験実習をしていただく。

4. 実 習 形成実習・装着実習・オールスキャナーとデジタルシェードテイキングの体験実習

5. 実習材料費 18,000円（持ち帰り品：上顎顎模型、ラミネートベニア形成済支台歯とラミネートベニアサンプル）

6. 担 当 者 佐藤 亨教授、梅原 一浩非常勤講師および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2603, 2698

◎小児歯科学講座 申込番号：1－3

1. 期 日 2019年8月18日（日）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ はじめましょう！咬合誘導 ―その基本的な考え方と臨床での注意点―
内 容 (1) 咬合誘導とは
(2) 保隙装置の選択
(3) 不正咬合に誘導しないために
(4) 動的咬合誘導
(5) 保隙装置の調整と製作（講義，実習）
(6) 床型咬合誘導装置の調整と製作（講義，実習）
3. 研修の特徴 日常臨床で「咬合誘導をしたい」と考える場面は多いと思います。保隙装置の一部が保隙適応となったことにより，咬合誘導装置を扱う機会も増えたのではないのでしょうか。
咬合誘導は，小児の成長発育を考慮した適切な診断，装置の選択，管理が必要となります。しかしながら，咬合誘導を学ぶ機会は決して多くはなく，日々の臨床で不安に思うこともあるのではないのでしょうか。小児の成長は適切なタイミングで治療することで大きな成果をあげることができますが，逆にタイミングを間違えることで不正咬合に誘導してしまう危険もあります。
今回の研修では，咬合誘導の基本的な考え方から実際の臨床での注意点を中心に行います。実習ではループ型保隙装置の製作と調整に加えて，日常臨床で出会う機会の多いと思われる前歯萌出期の機能性反対咬合を改善するための，床型咬合誘導装置の製作と調整法を体得していただきたいと思います。なお，実習で用いる床型咬合誘導装置は，そのまま患者説明用としても使用できるクオリティです。
4. 実 習 バンドループ製作，床型咬合誘導装置製作，調整実習
5. 実習材料費 10,000円
6. 担 当 者 新谷 誠康教授および講座員
7. 受講定員 45名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2903, 2998

◎口腔顎顔面外科学講座・口腔病態外科学講座 申込番号：1－4

1. 期 日 2019年8月25日（日）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 口腔粘膜の病変を鑑別できる眼を養おう
内 容 (1) 口腔粘膜疾患の診察の進め方
(2) 代表的な口腔粘膜疾患の鑑別と診察室での一次対応
(3) 早期口腔がんの鑑別
(4) 口腔乾燥症，舌痛症への対応
(5) 症例提示によるグループディスカッション
3. 研修の特徴 高齢者や要介護者が受診者の中心となりつつある歯科医療の目的は「口腔機能の維持管理」すなわち「口腔に発生する疾病を予防してその機能を健全に保ち，食べられることを継続すること」です。口腔機能を直接的に失うことになる口腔粘膜疾患の代表は「口腔癌」ですが，いずれの口腔粘膜疾患も症状が進めば食べるという観点から QOL の低下に繋がります。また，加齢により口腔粘膜の細胞代謝と免疫力は低下し，粘膜は病的変化が起きやすい状態に変化します。診療室に高齢者が増えれば粘膜疾患を診る機会も増えるということです。
今回は，口腔粘膜の診察方法，日常で多い口腔粘膜の病気とその対処法について解説します。また，受講される先生方に症例を御提示いただきインストラクターとともに診療室でできる対応について，グループでディスカッションする時間も設ける予定です。
4. 実 習 症例提示を中心にした講義ならびにインストラクターによるテーブルディスカッション
5. 実習材料費 0円
6. 担 当 者 柴原 孝彦教授（口腔顎顔面外科学講座），片倉 朗教授（口腔病態外科学講座）および講座員
7. 受講定員 60名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2706, 2798

2. 日本歯科大学生命歯学部

◎附属病院口腔外科 申込番号：2-1

1. 期 日 2019年7月18日(木) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ **すぐに役立つ日常臨床における口腔外科**
内 容 (1) 日常臨床と関連のある口腔外科疾患
(2) 日常臨床に潜む顎変形症
(3) こんな患者が来院したら 血栓療法、骨吸収抑制薬関連顎骨壊死、口腔アレルギー患者など
(4) 明日からの臨床に役立つ抜歯のテクニック
(5) 日常臨床に役立つ歯科小手術の要点(講義と実習)
(6) 色と形からみる口腔粘膜病変
3. 研修の特徴 我が国における医療技術の目まぐるしい発展と超高齢社会の到来は、歯科を取り巻く環境にも大きく変化をもたらしています。このような状況のなか、私たち歯科医師が日常臨床を行う上で役に立つのは、やはり口腔外科の知識や技術ではないでしょうか。日本歯科大学附属病院口腔外科では顎顔面領域の高度な外科的治療や口腔がんの診断治療なども重要分野としておりますが、その一方、保存、補綴、歯列矯正などの日常歯科臨床に密接に関連する口腔外科も診療の柱として積極的に取り組んでいます。
本研修では、日常臨床に役立つさまざまな口腔外科領域の疾患と治療について研修していただきます。歯冠補綴や義歯など一般歯科治療が応用できる顎変形症の治療について供覧させていただきます。先生方から問い合わせが多い抗血栓療法患者、顎骨壊死、口腔アレルギーなどの対応についてもわかりやすく説明させていただきます。日常臨床に直結した抜歯や口腔外科小手術については動画などの視覚素材を用い講義します。歯周外科やインプラントなどにも応用できる切開・縫合などの基本手技の実習を行います。さらには口腔がん検診にも参考になるよう口腔粘膜疾患や口腔がんおよび前がん病変について理解を深めていただきたいと考えております。
4. 実 習 切開縫合実習キットを用いて、歯肉粘膜の切開と剥離操作の手技および単純、マトレス、連続縫合など各種縫合法について実習します(剥離子、持針器、メスホルダーは持参お願いします。事前に申し出のある場合は貸出可)。
5. 実習材料費 6,000円
6. 担 当 者 小林隆太郎教授、荏司 洋文科長および医局員
7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影○、録画×、録音○ 9. 研修コード 2705, 2798

◎附属病院口腔インプラント診療科、歯科放射線・口腔病理診断科 申込番号：2-2

1. 期 日 2019年7月21日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ **明日から使える！インプラント手術のためのデジタルツール**
～CT画像を用いたシミュレーションからインプラント埋入まで～
内 容 (1) インプラント治療に必要な画像診断の知識(講義)
(2) インプラント治療に必要な外科手技とデジタルソリューションの応用(講義)
(3) インプラント体埋入実習(通常埋入の実習)
(4) ガイデッドサージェリーによるインプラント体埋入(デモ)
(5) インプラント埋入シミュレーション(デモ)
(6) 口腔内スキャナーによるデジタル印象(デモ)
3. 研修の特徴 本研修の最も大きな特徴は「デジタルソリューションの応用」です。近年、デジタル歯学の進歩により、CTによる画像診断、外科手術への応用、そして補綴治療など幅広く用いられています。インプラント治療による様々な合併症を回避するためにもデジタルソリューションを応用することは有用と考えます。
実習では、インプラント体埋入手術の基礎的な外科手技を修得するとともに、デジタルを応用したガイデッドサージェリーによるインプラント体の埋入および口腔内スキャナーによるデジタル印象のデモを供覧いたします。
安全なインプラント治療を行う上で最新技術の修得と共に重要な鍵を握るのが画像検査になります。インプラントの画像診断においては、治療の時期に応じた適切な検査法が選択されなくてはなりません。特に手術前に行われるCTによる画像診断ではデータの取り扱い方、診断に必要な解剖構造など正しい知識が求められます。本研修ではこれら画像診断についての講義、デモを行います。
4. 実 習 インプラントシミュレーション(デモ)、インプラント体の埋入(ハンズオンとデモ)
5. 実習材料費 15,000円
6. 担 当 者 柳井 智恵教授(口腔インプラント診療科)、岩田 洋准教授(歯科放射線・口腔病理診断科)および医局員
7. 受講定員 32名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2609, 2698

◎**歯科補綴学第2講座** 申込番号：2-3

1. 期 日 2019年7月25日（木）午前10時～午後5時

2. 研修テーマ **デジタル技術を活用したメタルフリー補綴**

- 内 容 (1) メタルフリー補綴概論（講義）
(2) CAD/CAM クラウンの臨床術式（講義）
(3) 口腔内スキャナーがもたらす未来と現在の到達点（講義）
(4) 口腔内スキャナーを使用したデジタルインプレッション（講義・実習）
(5) CAD/CAM セラミッククラウンの接着術式（実習）

3. 研修の特徴 材料や機材の発展に伴い、近年の歯冠補綴治療は変革の時を迎えている。我々、歯科医師は日常臨床の現場で、それらの知識を十分に活用することが多くの患者から求められ、より安全で予知性の高い治療到達点に向かわなければならない。そのような時流の中で、本当に新しい知識や技術本来の性能を生かしているのだろうか？

近年の歯科界において、デジタル技術は新しい潮流となって様々な技術革新を起こし、補綴治療を大きく変えてきている。代表的なものとしてCAD/CAMによって製作されたクラウンやブリッジがあり、主にセラミックスやコンポジットレジン为主材料としたブロックから削りだされる。そして、それらを安全な補綴装置として機能させるには、適切な支台歯形態の獲得や支台歯との完全な接着が求められる。新しい技術には既存の手法のみならず、それぞれの材料に適した術式、つまり“勘どころ”を知っていないと、破折や脱落などのトラブルにみまわれるケースも少なくない。

本研修では明日からの臨床に役立つメタルフリー補綴の臨床的“コツ”について講義を行う。また、実習では最新の口腔内スキャナーを用いたデジタルインプレッションとセラミッククラウンの接着術式について紹介する。

4. 実 習 デジタルインプレッションとCAD/CAM セラミッククラウンの接着術式を習得する。

5. 実習材料費 18,000円

6. 担 当 者 五味 治徳教授、新谷 明一准教授および講座員

7. 受講定員 45名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2603, 2698

◎**歯周病学講座** 申込番号：2-4

1. 期 日 2019年9月1日（日）午前10時～午後5時

2. 研修テーマ **GTR, エムドゲイン, そしてリグロス®** —歯周組織再生療法の効果的使用法—

- 内 容 (1) 歯周組織再生療法の理論と実際（講義）
(2) 歯周組織再生療法の適応症例の読み方（講義）
(3) 歯周組織再生療法のブタ下顎骨を使用した実習（GTR, エムドゲイン, リグロス®）
(4) 歯周外科手術に必要な縫合法

3. 研修の特徴 現在、歯周組織再生療法としてGTR（Guided Tissue Regeneration）法、塩基性線維芽細胞増殖因子（b-FGF）を応用した再生療法（リグロス®）が保険導入されているとともに、エナメルマトリックスタンパク質（エムドゲイン）を応用した再生療法もすでに20年近い実績を重ねているなど、歯周治療における選択肢が広がってきている。

しかし、未だ本邦においては歯周組織再生療法を活用している症例数は十分でなく、適応症例の選択や手技に対する情報が不足している可能性がある。

そこで本研修では、それらの内容を整理し、講義と実習を通して、歯周組織再生療法への理解を深めることを目的とする。

4. 実 習 ブタの下顎骨を用い、GTR 法、エムドゲイン、リグロス® による歯周組織再生療法の実習を行う。

5. 実習材料費 15,000円

6. 担 当 者 沼部 幸博教授、伊藤 弘准教授および医局員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2504, 2598

3. 日本大学歯学部

◎歯科保存学第二講座 申込番号：3-1

1. 期 日 2019年7月4日(木) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 最新歯内療法を日常臨床に取り入れるためのヒント
内 容 (1) 歯内療法の概論
(2) 最新ニッケルチタンファイルの特徴と安全な使用法(講義, 実習)
(3) 最新テクノロジーを駆使した緊密な根管充填法(講義, 実習)
(4) マイクロスコープを使いこなすための秘訣(講義, 実習)
3. 研修の特徴 近年, 最新歯内療法に関する様々な情報を見聞きすることが多くなってきました。しかし, その情報量は格段に多いため, 正しく理解し, 応用することは容易ではありません。
本研修では, 歯内療法の中でも特に, ①根管拡大, ②根管充填, ③マイクロスコープの3点にフォーカスを絞り, 最新歯内療法を導入するための秘訣を, 実際の症例を通して具体的に解説いたします。その後, 透明根管模型などを使用し, 講義で学んだ知識を元に理論と実際を確認しながら実習するため, 日常臨床に応用可能なプログラムとなっています。根管拡大には, コンセプトの異なる2種類のニッケルチタンファイル(WaveOne Gold および HyFlex EDM)を使用します。根管充填については, Continuous Wave Condensation Technique 法と Matched Tapered Single Cone Technique 法といった異なる2種類の根管充填法について, 模型を用いて実習を行います。また, マイクロスコープを用いた直視およびミラーテクニックによる, 根管内の観察や根管治療・偶発症への対応について実習していただきます。
4. 実 習 ニッケルチタンファイルを用いた根管拡大法, ハイブリッドテクニック等を用いた様々な根管充填法, マイクロスコープの調整法と根管の探索および偶発症への対応
5. 実習材料費 15,000円 (WaveOne Gold, HyFlex EDM, 透明根管模型, 根管シーラー, 根管充填材など
※ニッケルチタンファイルは持ち帰り可能)
6. 担 当 者 小木曾文内教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2503, 2598

◎保存学教室歯周病学講座 申込番号：3-2

1. 期 日 2019年8月1日(木) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 明日からできる歯周外科治療(フラップ手術から再生療法まで)
内 容 (1) 歯周外科総論
(2) 歯周外科各論
(3) ブタ下顎骨を用いた歯周外科実習
(4) 歯周外科治療の展望
3. 研修の特徴 歯周病は成人の有病率が80%を超え, 重症の歯周病患者も多くなってきている現状があります。したがって日々の臨床で歯周治療の重要性がより増してきています。
重度の歯周病患者は歯周基本治療を行っても, 深い歯周ポケットや骨欠損が残り, 歯周外科治療が必要になります。しかし, 歯周外科手術をルーティンに行うのは, 少しハードルが高いイメージを抱いている先生方も多いと思います。
そこで, 本研修では, 歯周外科を実際の臨床で行っていただくための基本を学んでいただきたいと思います。また, ブタ下顎骨を用いた実習を通して, 実際の手技を修得して頂きます。さらに, 歯周組織再生療法のエナメルマトリックスタンパク質の応用法, リグロス®についても理解していただきたいと思います。
4. 実 習 ブタ下顎骨を用いて歯周外科実習(フラップ手術, 遊離歯肉移植術, 再生療法)を行う。
5. 実習材料費 15,000円
6. 担 当 者 佐藤 秀一教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2504, 2598

◎口腔診断学講座 申込番号：3-3

1. 期 日 2019年8月4日(日) 午前10時～午後5時

2. 研修テーマ 神経障害性疼痛の診査・診断

- 内 容 (1) 三叉神経痛の診断と治療
(2) 神経障害性疼痛の診断と治療
(3) 精密触覚機能検査とは
(4) バーニングマウス症候群の診断と治療

3. 研修の特徴 日常の臨床で、痛みの原因が歯にあるのか否かの判断に困る症例に遭遇することがしばしばあります。この研修では、非歯原性疼痛（特に神経障害性疼痛）の鑑別診断を念頭に解説を加えます。来院患者に対して、特殊な器具を用いなく行う神経障害性疼痛の診査方法について述べて行きたいと思います。午前中と午後の一部を使って痛みの概論を話し、午後には実際に実習を通して履修していただくことを予定しています。また、舌痛症などの慢性の痛みを訴える患者の心理背景、心理学的な解析についても解説を加え、実際に簡単な心理検査について経験していただくことも考えています。

この研修を通して、皆様の頭の中での病態の整理が可能となり、診査診断の一助となることを期待しています。

4. 実 習 爪楊枝、綿棒、ノギス、心理テスト（精密触覚機能検査修了書は配布できません。）

5. 実習材料費 1,000円

6. 担 当 者 今村 佳樹教授および講座員

7. 受講定員 30名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2708, 2798

◎歯科放射線学講座、歯科補綴学第Ⅰ講座 申込番号：3-4

1. 期 日 2019年8月8日(木) 午前10時～午後5時

2. 研修テーマ 顎関節症の診断とスプリント治療

- 内 容 (1) 顎関節症の基礎知識
(2) 顎関節症の画像診断
(3) 顎関節症治療の現在
(4) スプリント治療の実際
(5) スプリントのワックスアップ
(6) スプリントの調整

3. 研修の特徴 時代とともに変遷してきた顎関節症の概念も、近年になり、「いくつかの病態からなる包括的名称」であり、「生物心理社会モデルの枠における多因子性の疾患」、「症状の自然消退が期待できる疾患」として理解が進んでいます。そのため、治療においては、病態診断と推測される原因に基づいて個々の患者に適した方法を選択し、可逆的な保存療法を優先して行うことが共通の理解となっています。

顎関節症の保存療法の一つであるスプリント療法は、多くは他の治療法との併用により広く用いられています。しかし、安易な選択や誤った治療方法は、治療が奏効しないばかりか、咬合の不可逆的変化をもたらし危険があります。

そこで、本研修では、新しい顎関節症の分類に基づいた診断と、顎関節症治療の現在について解説いたします。さらに実習では、スタビリゼーションスプリントのワックスアップと調整を体験することで、スプリント療法に対する理解を深めていただきたいと思います。

4. 実 習 スタビリゼーションスプリントのワックスアップと調整

5. 実習材料費 15,000円

6. 担 当 者 本田 和也教授（歯科放射線学講座）、高津 匡樹准教授（歯科補綴学第Ⅰ講座）および講座員

7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2802, 2898

4. 東京医科歯科大学歯学部

◎う蝕制御学分野 申込番号：4-1

1. 期 日 2019年8月1日(木) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ **ONE シェードでのコンポジットレジン修復**
内 容 (1) 接着材料とコンポジットレジンの選び方、使い方(講義)
(2) 接着技術を駆使した多様なレジン修復症例の紹介(講義)
(3) 少ないシェードできれいにできる前歯の修復(実習)
(4) ONE シェードで簡単にできる臼歯の修復(実習)
3. 研修の特徴 コンポジットレジン修復の適用範囲が拡大してきましたが、治療に長時間を要することでレジン修復をためらうことはないでしょうか？そこで、審美的でスピーディなコンポジットレジン修復を習得していただきたく本コースを開設しました。
講義では、科学的根拠に基づいた接着材とコンポジットレジンの選び方、使い方を学んでいただきます。また、接着の特徴を活かしたコンポジットレジン修復治療の多様な症例をご覧いただきます。実習のゴールは、人工歯を用いたコンポジットレジン修復を通じて、複雑なテクニックや特殊な器材を用いることなく、シンプルな方法で、審美的でスピーディなレジン修復ができるようになることです。
本研修で身につけたスキルは、日々の臨床にきっとお役に立つものと確信しております。
4. 実 習 少ないシェードできれいにできる前歯の修復および ONE シェードで簡単にできる臼歯の修復。
5. 実習材料費 10,000円
6. 担 当 者 田上 順次教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2605, 2698

◎麻酔・生体管理学分野 申込番号：4-2

1. 期 日 2019年8月4日(日) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ **患者さんと診療所を救う心肺蘇生「施設基準に対応する研修会」**
内 容 (1) 歯科治療中の全身的偶発症の実例
(2) 全身状態の評価
(3) 危ない症例の見分け方と対処法
(4) 診療情報提供書の書き方・読み方
(5) 心肺蘇生
(6) モニタ機器の使い方、活かし方
3. 研修の特徴 皆様は、近年、高齢者や全身疾患をお持ちの方の来院が特に多くなったと感じていることでしょうか。このような患者さんは増えることがあっても減ることはなく、緊急事態に陥ることになるかもしれません。そこで、緊急事態が起きた時に必要な心肺蘇生(救急蘇生法)を説明し、しっかりと実習して頂きます。
ただ、このような心肺蘇生をしても助からないことがあるのですから、起こさないで済むに越したことはありません。場合によっては「手を出さない」方が良い患者さんがいます。つまり、先生の診療所に救急車が駆けつけるような事態は避けたいのです。そこで、実際に経験した症例をお見せしながら、何が起こったのか？どのような対処をしたのか、その結果は？その原因は？をお話しします。それらから、何を聞いておくのか(医療面接)、何を調べておくのか(臨床検査、対診)、何の治療ができるのか(治療内容)、何に気をつけて処置をするのか(モニタリング)について具体的に提示いたします。
なお、本研修は、院内感染予防対策及び医療安全対策を含み「歯初診」「外来環」「歯援診」「か強診」の施設基準の研修内容に対応しております。
4. 実 習 1. 人形を用いた心肺蘇生実習
2. モニタ機器の使い方とその評価
3. 診療情報提供書の書き方
5. 実習材料費 3,000円
6. 担 当 者 深山 治久教授および講座員
7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 3403, 3498

◎口腔機能再建工学分野 申込番号：4-3

1. 期 日 2019年8月29日(木) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ だめな義歯から、よい義歯へ ―明日、総義歯で困らないための知恵と技―
- 内 容 (1) よい義歯のイメージをつかむ
(2) これならできるマル模の秘策
(3) 開き直りから始める咬合採得成功への道
(4) 超高齢社会における総義歯製作の留意点
(5) フラビーガムを究める
(6) 難症例を楽しむ
3. 研修の特徴 無歯顎患者の難症例化が著しいようです。顎堤の著しい吸収、床下粘膜の菲薄化、唾液の減少などに加え、全身状態の悪化、認知機能の問題など総義歯治療を取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。在宅や施設での診療機会も増え、限られた時間、回数、設備でいかに早期に高齢者の食べる機能の維持、回復を成しえるかが求められています。
- そこで本研修では、順を追って義歯製作のステップを示すのではなく、今そこにある義歯のどこに問題があり、どのように調整するかという観点から研修内容を組み立て、「だめな義歯」を「よい義歯」に変えるポイントを、多数の症例写真とビデオを通して解説したいと思います。鈴木流とは頭を使うことにあります。超絶な技ではなく、知識から生まれた知恵を使い、普通より少し技を頑張ることで、大きな結果が得られると確信しています。特別な道具を購入しなくても、明日から直ぐに役立つ実践的な研修を期待ください。
4. 実 習 な し
5. 実習材料費 0円
6. 担 当 者 鈴木 哲也教授および講座員
7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2608, 2698

◎歯髄生物学分野 申込番号：4-4

1. 期 日 2019年9月8日(日) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ エビデンスに基づくベーシックエンド+α
- 内 容 (1) 歯内療法におけるケースアセスメント
(2) あらためて歯根と根管を考える ～根管形態への対応
(3) NiTi ロータリーファイルを使いこなす
(4) マイクロスコープは歯内療法のトラブルシューター
(5) MTA のエビデンス
(6) 難治症例への対応
3. 研修の特徴 近年、NiTi ロータリーファイルの開発、手術用実体顕微鏡や歯科用 CT の導入など、歯内療法の器材・術式は著しく進歩しており、そのグローバルスタンダードが大きく変貌を遂げています。ところが、これらの真価はエビデンスに基づき確立されたトラディショナルな理念や術式とのコンビネーションにより、はじめて発揮されるともいえます。
- そこで本研修では、最新機材を駆使した臨床を紹介することはもちろんですが、トラディショナルな器材術式にも十分配慮した、教科書プラスアルファの内容ではあるものの、評価がある程度定まった手堅い情報をお伝えしたいと思います。
- また、顕微鏡での実習、MTA や2種類のニッケルチタンファイルを用いた実習は、皆様の明日からのエンド臨床に必ず役立つと思います。
4. 実 習 歯科用顕微鏡およびMTA、2種類のNiTi ファイルを用いた歯内治療実習
5. 実習材料費 15,000円
6. 担 当 者 興地 隆史教授および講座員
7. 受講定員 36名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2503, 2598

5. 昭和大学歯学部

◎歯科保存学講座歯内治療学部門 申込番号：5-1

1. 期 日 2019年7月7日(日) 午前10時～午後5時

2. 研修テーマ エンドの基本と難症例対策

- 内 容
- (1) 歯根と根管の解剖
 - (2) 根尖性歯周炎とは
 - (3) 根管治療の基本手技
 - (4) マイクロスコープの有用性
 - (5) コーンビーム CT の活用
 - (6) 根管治療の難症例対策

3. 研修の特徴 歯内治療の分野は、マイクロスコープやコーンビーム CT の導入、NiTi ファイルの進歩などによって、近年大きな進化を遂げてきており、歯内治療の専門性は以前よりも高まってきました。一方で、難治症例にお困りの先生方も数多くいらっしゃると思います。最新器材を使用しても、歯内治療の基本はやはり無菌的処置と徹底した根管内の清掃であることに変わりはありません。

本研修では、なかなか話を聞く機会が少ない歯内治療の基本的手技や考え方について、現在のスタンダードといえる方法を改めて確認していただいたうえで、マイクロスコープを用いた実習も行っていたきたいと思います。

また、大学病院での症例をもとに、マイクロスコープやコーンビーム CT を活用した難症例への対応についてご紹介させていただき、エンドの診断に有用なコーンビーム CT をはじめとするエックス線写真の読影についても実習を予定しています。本研修における講義、豊富な症例供覧そして実習は、皆様の明日からのエンド臨床に必ず役立つと思います。

4. 実 習

- ・歯牙模型を用いた髄腔開拓、根管形成のマイクロスコープ実習
- ・コーンビーム CT をはじめとするエックス線写真の読影実習

5. 実習材料費 10,000円

6. 担 当 者 鈴木 規元准教授および講座員

7. 受講定員 28名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2503, 2598

◎スペシャルニーズ口腔医学講座顎関節症治療学部門・スポーツ歯科外来 申込番号：5-2

1. 期 日 2019年7月14日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ 最新臨床スポーツ歯科医学 ―明日からできるカスタムメイドマウスガード―

- 内 容
- (1) スポーツ歯科医学概論(講義)
 - (2) マウスガードを含めた口腔内装置(講義)
 - (3) 競技別マウスガードの詳細について(ランチョンセミナー)
 - (4) カスタムメイドマウスガードの製作法について(講義)
 - (5) カスタムメイドマウスガードの製作(実習)

3. 研修の特徴 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が1年後に迫り、スポーツへの関心が益々高まっています。国民が広くスポーツ活動を行うのは自然の成り行きですが、スポーツ活動中の口腔顔面領域の怪我が多発していることも事実です。2012年に策定されたスポーツ基本計画では、「マウスガードの着用の効果などの普及・啓発を図ること」が示されています。このような背景の中で、スポーツ外傷を予防するための効果的なカスタムメイドマウスガードを作製し、これらの普及・啓発を図ることが、歯科医師の重要な役割となっています。

本研修では、スポーツ歯科医学の知識と技術を理解して頂き、カスタムメイドマウスガードの製作法を各自ご持参頂いた上顎模型でインストラクターの指導の下で実習して頂きます。

なお、本研修は日本スポーツ歯科医学会認定マウスガード講習会ですので、受講された先生には日本スポーツ歯科医学会認定の修了証を授与いたします。

4. 実 習 各自に持参いただいた上顎模型(歯肉頬移行部までトリミングし乾燥)で、ラミネートマウスガード(ダブルレイヤー)を製作し、咬合器につけた上下顎模型で咬合調整を行う。

5. 実習材料費 9,000円

6. 担 当 者 船登 雅彦教授(顎関節症治療学部門)、菅沼 岳史教授(スポーツ歯科外来)および講座員

7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 3003, 3098

◎スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門 申込番号：5-3

1. 期 日 2019年7月28日（日）午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ 口腔機能発達不全症の評価と対応

- 内 容 (1) 小児の口腔機能発達と発達不全（講義）
 (2) 口腔機能発達不全症の評価（講義）
 (3) 口腔機能発達不全症への対応（講義）
 (4) 口腔機能発達不全症の評価と診断（実習）
 (5) 口腔機能発達不全症の事例検討（実習）
 (6) ランチョンセミナー

3. 研修の特徴 小児口腔機能管理加算が新設され2年目となりますが、高齢者の口腔機能低下症のように明確な評価基準がない中で口腔機能発達不全症の評価は、非常に分かりにくい部分も多いかと思えます。小児を対象とする発達不全の気づきは早期であればあるほど、その習性は軽微であると考えられることから、次世代を担う子ども達への口腔機能の支援は歯科臨床において今後さらにニーズが高まるものと思われます。

本研修では、小児の口腔機能発達の過程と不全に関する講義、口腔機能の検査法の実技実習や事例検討を通し、日常臨床の中で小児期の口腔機能管理を実践できる知識と技術の習得を目指します。

4. 実 習 口腔機能に関する各種検査および口腔機能発達不全のアセスメント

5. 実習材料費 2,000円

6. 担 当 者 弘中 祥司教授および講座員

7. 受講定員 60名 8. 記 録 録撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2902, 2998

◎インプラント歯科学 申込番号：5-4

1. 期 日 2019年8月25日（日）午前10時～午後5時

2. 研修テーマ 歯科インプラントに関連した包括的治療

ー単独科での包括的診療と他科との集約的診療の使い分けー

- 内 容 (1) 抜歯後ならびにインプラント埋入後に効果的な非侵襲的骨再生法
 ー炭酸ガスレーザーの有効利用ー（講義、実習）
 (2) 歯周病患者に対して容易で効果的な管理法（講義、実習）
 (3) 矯正治療とインプラント補綴を併用した包括的治療（講義）
 (4) 形成外科、耳鼻科、口腔外科との集約的治療（講義）
 (5) コンピューターを応用した診断と埋入手術
 ーナビゲーション手術とガイドサージェリーの使い分けー（講義、実習）

3. 研修の特徴 今日医科領域でも歯科領域でも、単に疾病に対する対症療法だけでは患者さんに対する全人的あるいは根本的治療になっていないとの反省から、疾病や症状の原因を明らかにしたうえで臨床各科が協力し合った複数の診療行為を行う包括的治療が重要視されている。

歯科インプラント治療においても、局所的あるいは全身的に何らかの問題がある complex case の患者さんの QOL を著しく改善するためには、適切な診査と診断に基づく治療計画の立案と、予知性の高い治療技術の実践が重要である。

そこで本研修では、単独の歯科診療施設においてもインプラント治療が十分に可能となる包括的治療のノウハウと、他科と協力しての集約的治療が効果的であった症例を多数提示し、両者の使い分けについて講義する。また実習では、単独の歯科診療施設における包括的治療に有用なレーザー照射法や非侵襲的埋入窩形成法、ならびに最新のナビゲーション手術法について体験して頂く予定である。

4. 実 習 1. ナビゲーション症例の模型を用いてのナビゲーション手術の体験

2. 用途別に分けた炭酸ガスレーザーの照射法

3. 大口式オーギュメーターによる低侵襲性の埋入窩形成法

5. 実習材料費 15,000円

6. 担 当 者 尾関 雅彦教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2609, 2698